

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	普及広報事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸
				課	評価責任者(課長名)
					増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 55 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	文化財保護法・博物館法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	昭和55年の開館以来、普及啓発事業を行ってきた。現在、普及啓発事業は全ての博物館で重要な事業の一つとなっている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	本市への来訪者及び市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	普及業務では、市民およびビジターへの生涯学習の場として、また、とくに小中学生に対しては、展示品を通して堺の歴史・文化・伝統を紹介することを目的とする。また、広報業務としては、博物館事業を広報し、博物館への来館を促すことを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	古文書講習会・体験学習会などの開催、博物館ボランティア制度の導入、博物館研究報告の作成等を行う。また、堺市博物館事業全般の広報業務を行う。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 委託業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

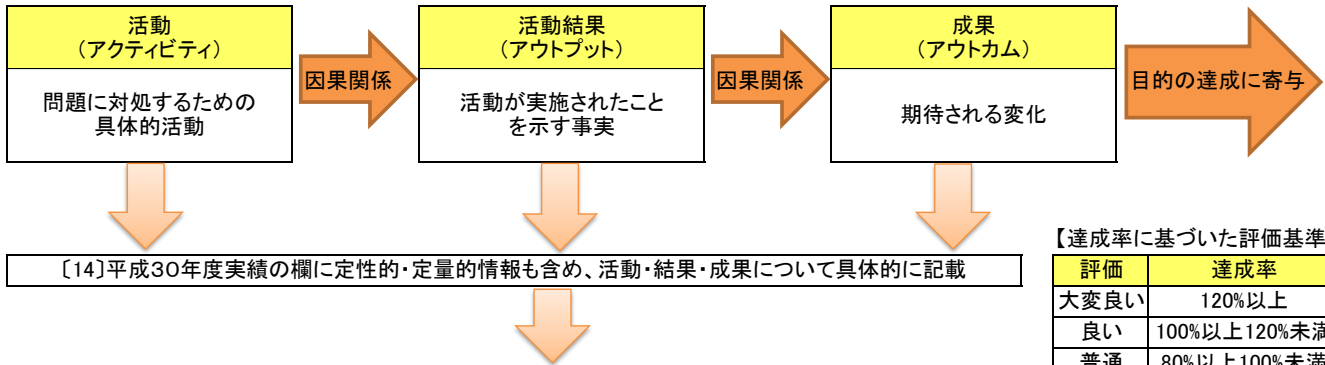
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	1,790	2,049	1,757	1,971	
	主な事業費内訳	謝礼金等	千円	230	159	23	116
		印刷製本費	千円	356	245	64	89
		広告料	千円	475	605	474	600
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(物品売払収入・徴収金収入)	千円	795	778	152	240
	12	人件費 (b)	千円	23,660	22,480	22,670	22,420
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	25,450	24,529	24,427	24,391

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	普及広報事業	シート番号	08-61
-------	--------	-------	-------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績									
活動実績と成果	14	○体験学習会 20回 ○古文書講習会 ○博物館行事の広報業務 ○「日本と世界が出会うまち・堺2018」の開催 (11/18) ○連続公開講座「堺・自由都市」の開催 (4回)							
		指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		15	体験学習会・古文書講習会開催数	回	目標値	15	16	16	21
					実績値	13	28	24	
					達成率	87%	175%	150%	
					評価	普通	大変良い	大変良い	
	算出方法・設定根拠など		開催回数実数						
	16	体験学習会の参加人数	目標値	610	610	750	820		
			実績値	590	845	1,515			
			達成率	97%	139%	202%			
			評価	普通	大変良い	大変良い			
			算出方法・設定根拠など		参加者延べ人数				

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	各行事とも好評のうちに無事終了した。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。